



心臓財団 季 報

発 行

◆ 公益財団法人日本心臓財団 ◆

〒 163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階

○ Tel 03-5324-0810 ○ Fax 03-5324-0822

○ e-mail : info@jhf.or.jp ○ URL : http://www.jhf.or.jp

No.215

Jun. 10, 2014

平成26年6月10日(火)
通巻215号

日本心臓財団の平成 26 年度の事業計画をお知らせいたします。本年度も数多くの研究助成をはじめ、さまざまな心臓病の予防・治療に対する啓発活動を行っていきます。これらは皆さまのご支援に支えられておりますので、よろしくお願い申し上げます。

I. 個人研究に対する助成事業

1. 第 40 回日本心臓財団研究奨励(11 月公募予定)
2. 第 5 回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励(11 月公募予定)
3. 第 5 回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励(11 月公募予定)
4. 第 2 回日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成(11 月公募予定)
5. 第 12 回日本心臓財団・アステラス・ファイザー動脈硬化 Update 研究助成(4 月公募)
6. 第 10 回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成(次頁参照)
7. 第 3 回日本心臓財団・日本循環器病予防学会・アストラゼネカ臨床疫学研究助成(4 頁参照)

II. 研究者の留学費用に対する助成事業

1. 第 28 回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成(募集終了)
2. 東京海上日動火災保険(株)による海外研究者研修助成
3. 第 8 回日本心臓財団 Cardiac Rhythm Management 短期海外研修助成(募集終了)

III. 学会および研究会に対する助成事業

1. 公募助成
 - 1) PCI Technical Education Course
 - 2) TOPIC 2014
 - 3) 第 26 回日本心エコー図学会学術集会
 - 4) その他、審査委員会で承認された循環器関連学会
2. 指定助成・共催
 - 1) 第 36 回美甘レクチャー(日本循環器学会特別招聘講演)
 - 2) 第 28 回日本循環器病予防セミナー

IV. 共同臨床研究等に対する助成事業

1. 虚血性心疾患に関する研究
2. 虚血性心疾患と脂質低下療法に関する研究
3. 突然死に関する研究
4. 心房細動に関する研究
5. 慢性心不全に関する研究

6. 急性心不全に関する研究
7. 弁膜症に関する研究
8. 高血圧に関する研究
9. 肺高血圧に関する研究
10. 糖尿病と心血管病に関する研究
11. 睡眠呼吸障害と心血管病に関する研究
12. 血栓症・塞栓症に関する研究
13. 心臓外科治療に関する研究
14. その他

V. 指定研究等の実施・助成事業

1. 生活習慣病改善プログラム
2. 予防医学のための携帯型心電計普及活動

VI. 個人または団体に対する褒賞事業

1. 第 39 回日本心臓財団佐藤賞
2. 第 39 回日本心臓財団草野賞
3. 第 29 回日本心臓財団予防賞
4. 第 9 回日本心臓財団小林太刀夫賞
5. 第 18 回日本心電学会学術奨励賞

VII. 広報啓発事業

1. インターネット「心臓財団のホームページ」関連啓発活動
2. 日本循環器学会・日本循環器病予防学会との協力事業
3. 予防啓発小冊子の発行
4. 「健康ハートの日」活動
 - 1) 健康ハートの日(8 月 10 日) キャンペーン
 - 2) ポスターの製作配布等
5. 禁煙推進活動
6. AED・心肺蘇生普及活動
7. 日本心臓財団メディアワークショップの開催
8. 患者団体・予防活動団体への協力
9. 日本川崎病研究センター事業への協力
10. トーアエイヨー(株)によるラジオ NIKKEI「心臓財団虚血性心疾患セミナー」
11. 月刊誌「心臓」の発行(日本循環器学会との共同発行)
12. 機関紙の発行など

第10回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究 助成対象者 決定

日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成は、ノバルティスファーマ株式会社の協力のもと、循環器領域における分子細胞生物学的研究の進歩に著しい貢献が期待される40歳以下の少壮研究者のために実施されるものです。

本研究助成の第10回は42名より応募があり、3月21日に選考委員会が開催され、下記の10名が助成対象者に決定いたしました。助成金額は各100万円です。

選考委員 (五十音順・敬称略)

委員長	永井 良三	自治医科大学学長
委員	伊藤 宏	秋田大学大学院医学系研究科循環器内科学・呼吸器内科学教授
	北風 政史	国立循環器病研究センター臨床研究部長
	倉林 正彦	群馬大学大学院医学系研究科臓器病態内科学教授
	小室 一成	東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授
	斎藤 能彦	奈良県立医科大学第一内科学教授
	砂川 賢治	九州大学大学院医学研究科循環器内科学教授
	筒井 裕之	北海道大学大学院医学研究科循環器病態内科学教授
	室原 豊明	名古屋大学大学院医学系研究科器官制御内科学教授
	森下 竜一	大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授

助成対象研究者 (五十音順・敬称略)

氏名	所属
	木岡 秀隆 (38歳) 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 医員
生体イメージング法による虚血心筋エネルギー代謝の解明とATP産生への創薬基盤研究	
心臓は全身に血液を送り出すためにATPという物質をエネルギー源として用いています。しかし発見から80年以上経過した現在でも、拍動を続ける心臓内でのATP濃度やその挙動を調べることは不可能でした。今回の研究で我々は最新のイメージング技術を用いることにより、生体内で拍動を続ける心臓においてATP濃度を可視化し、さらにこの技術により得られる知見に基づく新規治療薬の開発を目指します。	
	桑原 康秀 (35歳) 京都大学大学院医学研究科循環器内科学 医員
LincRNAの機能解析による、心肥大・心不全の新たな病態解明	
心臓の機能が低下し、全身に必要な血液を送り出せない病態を心不全というが、その予後は未だ不良である。細胞内外で機能するタンパク質はDNAから転写されたcoding RNAから作られ、これまでの心不全研究はタンパク質を中心とした研究である。しかし、近年DNAの多くの領域から、タンパク質をコードしないnon-coding RNAが作られていることが判明した。本研究はnon-coding RNAの一つであるLong intergenic non-coding RNA (LincRNA)に着目し、その機能解析を通して、心肥大・心不全の新たな病態解明や、核酸医薬のターゲット同定を目標とする研究である。	
	眞田 文博 (38歳) 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学講座 特任助教
心臓組織低還流による幹細胞機能不全の視点から見た心不全発症メカニズムの解明	
加齢により多くの循環器疾患罹患率は増加します。とりわけ心不全は典型的な加齢関連疾患です。今後、超高齢化社会において心不全患者数は増加することが予測され、加齢に伴う心臓老化(加齢心不全)のメカニズム解明および新たな治療法の樹立は急務と思われます。この研究では、心臓の老化が心臓に内在する幹細胞の老化により生ずる可能性を検討し、新たなメカニズム・治療ターゲットを明らかにすることを目的としています。	
	関 倫久 (32歳) 慶應義塾大学医学部循環器内科学 助教
心室/心房中隔欠損症患者由来のiPS細胞を用いた疾患原因遺伝子の解析	
わが国では先天性心疾患を持つ成人患者さんの数は既に400万人以上です。そして多くが遺伝病が原因となって起こると考えられています。しかし、原因である遺伝子異常がわかるケースは限られており、その発生機序については不明な点が多いのが現状です。当研究では先天性心疾患の患者さんから作製したiPS細胞から心筋細胞を作り出し、解析することで原因遺伝子の検索、発生機序の解析に応用することを目的としています。	

氏 名 所 属



竹藤 幹人 (40 歳) 名古屋大学医学部附属病院循環器内科 病院助教

心不全における低分子量 RhoA の役割の解明と創薬にむけた基盤研究

心不全の患者数は増加傾向にあり、両心室ペースメーカーなどの非薬物療法は目覚ましい進歩を遂げているが、薬物療法は従来の治療が続けられており、新規治療薬の開発が望まれている。低分子量 RhoA は高血圧、癌などの病気との関連が報告されており、新規薬物治療の標的分子として注目されている。心臓疾患と RhoA の関わりについては不明な点が多く、本研究では心不全における RhoA の役割を明らかにし、創薬にむけた基盤研究を目指す。



田中 (大石) 由美子 (39 歳) 東京医科歯科大学難治疾患研究所 細胞分子医学分野 准教授

肥満・動脈硬化症とリンクする免疫代謝システムの分子機構

肥満や動脈硬化の進展に慢性炎症が重要である。私はこれまでに、慢性炎症の病態形成に重要なマクロファージは、細胞内代謝と連動して機能を制御する「免疫代謝システム」を備えることを見出した。本研究では、肥満や動脈硬化において「免疫代謝システム」がいかに変動し炎症が慢性化しやすい素地がつけられるのか、その分子機構を探るとともに、マクロファージ機能を改善することによって肥満や動脈硬化の進展を予防する治療法開発にむけた基盤を作る。



野村 征太郎 (33 歳) 東京大学大学院医学系研究科循環器内科学 特任研究員

心筋細胞の分化と破綻におけるエピゲノム制御機構の解明

個体を構成するすべての細胞は原則的に同じゲノムを持っていますが、異なるエピゲノムを持っています。細胞の個性は、このエピゲノムに記憶され、一方でエピゲノムは遺伝子を制御することで細胞の個性を保っています。本研究の目的は、次世代シーケンサーを用いて、心筋細胞の「分化」と「破綻」におけるエピゲノムの変化を同定・解析し、その過程において、どのように細胞の個性の変化が誘導、維持されているかを明らかにし、「エピゲノムを書き換えることで細胞の状態を変える」、根本的な治療法の基盤としたいと考えています。



松島 将士 (38 歳) 北海道大学病院循環器内科 医員

心筋リモデリングとミトコンドリア品質維持における Nox 4 の役割の解明

近年、ミトコンドリアの形態異常がミトコンドリアの品質管理と密接に関与していることが報告されているが、心不全におけるミトコンドリア形態異常の役割については不明である。心不全において酸化ストレスは重要な役割を担っており、主要な酸化ストレスの産生源である NADPH oxidase 4 とミトコンドリア形態異常についての関連についても明らかとなっていない。本研究により心不全におけるミトコンドリア形態維持機構および新たな心不全治療の開発が期待される。



丸橋 達也 (36 歳) 広島大学病院循環器内科学 医科診療医

虚血性血管新生における酸化ストレス応答制御転写因子 Bach1 の機能的意義の解明

酸化ストレス軽減モデルである Bach1 ノックアウトマウスと動脈硬化モデルである ApoE ノックアウトマウスのダブルノックアウトマウスに対して下肢虚血モデルの作成を行い、Bach-1 遺伝子欠損が酸化ストレス過剰環境下の虚血性血管新生に及ぼす影響ならびに機序を検討する。Bach1 関連の血管新生機序が明らかとなれば、Bach1 が閉塞性動脈硬化症における新たな分子標的治療ターゲットとなり、Bach1 阻害薬などの創薬につながる可能性がある。



山崎 大樹 (36 歳) 京都大学学際融合教育研究推進センター生理化学研究ユニット 特定講師

小胞体カウターイオンチャネル TRIC-A の心臓における生理的意義の解明

心臓の線維化は心筋梗塞や心肥大などの病態の進行に伴い観察され、心筋ポンプ機能の低下を招く心不全へと発展する恐れがある。本研究で用いる TRIC-A 欠損マウスへの β アドレナリン受容体持続刺激は、心筋細胞死を引き起こし顕著な線維化を誘導する。分裂能を有さない心筋細胞にとって、心筋細胞死及び線維化を予防または治療することは生命予後の観点から非常に重要である。本研究により、線維化が生じる機序を明らかにするとともに臨床的応用も目指す。

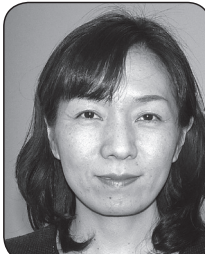
第3回 日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ臨床疫学研究 助成対象者 決定

日本心臓財団と日本循環器病予防学会(旧:日本循環器管理研究協議会、略称:日循協)は、アストラゼネカ株式会社の協力のもとに、医師、保健師、看護師、管理栄養士、栄養士、薬剤師等を対象に循環器疾患の予防に関する臨床疫学研究助成第3回を実施いたしました。今回は全国より23件の応募があり、4月3日に選考委員会が開催され、下記の7名が選考されました。研究期間は3年間です。

選考委員(五十音順・敬称略)

委員長	和泉 徹	恒仁会新潟南病院顧問
委員	上嶋 健治	京都大学大学院医学研究科EBM研究センター教授
	岡山 明	生活習慣病予防センター代表
	中村 好一	自治医科大学公衆衛生学教室教授
	山崎 力	東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター教授
	山科 章	東京医科大学循環器内科主任教授

助成対象研究者(五十音順・敬称略・金額単位:万円)

	氏名	所属	助成金額
	井田みどり (38 歳)	京都大学大学院医学研究科糖尿病内分泌・栄養内科 研究生	90
	新規内臓脂肪計 Dual Scan による内臓脂肪蓄積の循環器疾患発症での意義の解明		
	研究代表者らは新規内臓脂肪計 Dual Scan を開発して、CT 内臓脂肪蓄積と $r=0.89$ ($p<0.0001$) ときわめて高い相関を得て、内臓脂肪計として薬事承認を世界で最初に得て、Dual Scan が内臓脂肪蓄積測定の有用な機器であることを示した (Ida, et al. Obesity 2013)。本研究では、Dual Scan を用いて、内臓脂肪蓄積の循環器疾患発症における意義の解明を目指す。		
	樺山 舞 (38 歳)	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 助教	200
	飲酒習慣を有する高血圧患者への保健指導の有効性に関する前向きランダム化比較試験		
	本研究では、保険診療を受療中の飲酒習慣を有する高血圧患者に対し、病院外来において飲酒習慣に対する改善支援を中心とした保健指導を行う群と行わない群に分けて、飲酒量や血圧値における保健指導の有効性を前向きに検証します。多量飲酒は特に男性において高血圧発症の重要な危険因子の一つであり、節酒によって特に早朝の血圧上昇を抑制する効果が期待されます。従来飲酒に対する保健指導アプローチが十分ではない中、飲酒は健康日本 21 (第 2 次) においても重要な課題であり、本研究の結果は効果的な非薬物治療の確立に寄与する可能性があると考えています。		
	小林 貴 (39 歳)	国立循環器病研究センター病院 循環器病専門修練医	250
	不整脈発症における自律神経系の関与：一般住民コホート吹田研究の Holter 心電図解析		
	一般住民対象の不整脈と循環器病に関しての研究は、コレステロールなど生活習慣病の視点からの循環器病研究と比較して極めて少なく、不明な点が多くあります。その理由の一つとして、不整脈は健診受診時の一時点の心電図のみでは見つけることができないことも多く、健診では研究を行いにくい面があるからです。不整脈発症には自律神経関与が重要であることが指摘され、この点に着目して 24 時間ホルター心電図で研究を行う予定です。		
	田中 伸弥 (26 歳)	北里大学大学院医療系研究科 理学療法士	400
	新たな骨格筋電気刺激法は心不全で入院した後期高齢者の運動機能低下を予防する		
	心不全で入院した後期高齢者は、著しい心機能の低下に加えて運動機能の低下により通常的心臓リハビリテーションを実施できないことがあります。骨格筋電気刺激法は、身体に電流を流して他動的に筋収縮を引き起こす物理療法であり、ベッドに寝た状態で実施できて筋萎縮を予防する効果があります。本研究の目的は、心不全で入院した後期高齢者の運動機能低下を予防する介入方法として、新たな骨格筋電気刺激法が如何に有用であるかを明らかにすることです。		

氏名	所属	助成額
中尾 葉子 (36歳)	国立循環器病研究センター予防医学・疫学情報部 研究員	90
メタボリック症候群・肥満症の臨床疫学研究—ナショナルデータベースを用いた横断・縦断研究		
平成20年から、メタボリック症候群に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導が開始されました。一部でその有効性を示す調査結果も発表されていますが、わが国全体での実態は明らかではありません。そこで本研究では、2008～2011年に特定健診を受診したのべ約8800万件の大規模データを解析することにより、わが国のメタボリック症候群の現状把握を行うことを目的としています。この“ビッグデータ”から得られる結果は、今後の生活習慣病予防対策等を考えるうえで重要な情報になると考えます。		



三浦 正暢 (35歳) 東北大学病院循環器内科 助教 300
心血管病患者における更年期障害の疫学と性差、予後に関する臨床研究

加齢とともに男性ホルモン、女性ホルモンいずれも減少することが知られています。女性ではホルモン欠乏に伴う更年期症状に対し、ホルモン補充療法などの医療が普及していますが、男性における更年期障害は十分に認知されておりません。また、更年期障害が心血管病に与える影響について、疫学的なデータは十分ではありません。われわれは、心血管病患者における更年期障害の実態、予後に与える影響について明らかにすることを目的に研究を進めていきます。



宮川 尚子 (37歳) 滋賀医科大学アジア疫学研究センター最先端疫学部門 特任助手 500
日本版 DASH 食の開発と食事介入による生体指標の変化の検討

血圧低下および循環器疾患予防のための食事パターンとして欧米で定着している DASH 食の日本版メニューを開発する。これを用い、日本版 DASH 低塩食群 (食塩 6g/日) と通常食群 (食塩 10g/日) の2群に10名ずつ分けた小規模な摂食試験を実施して、摂食状況および生体指標 (尿中排泄ナトリウム量 (摂取食塩量に相当)、尿中カリウム排泄量、血圧、血液検査等) の変化を確認し、将来の大規模摂食試験の実現可能性を検討する。

第29回日本心臓財団 予防賞

受賞者：岡山 明 生活習慣病予防研究センター代表

日本心臓財団予防賞は、地域社会に密着し、循環器疾患予防に長年貢献もしくは学術研究開発に功績のあった団体あるいは個人に贈られるものです。第29回は『生活習慣病に対する総合的保健指導法の開発と普及』に関する実績で、生活習慣病予防研究センター代表 岡山 明氏が選ばれました。

来る7月20日の第50回日本循環器病予防学会学術集会 (会長：山科章 東京医科大学循環器内科主任教授) 会期中に賞牌および副賞50万円が贈られます。



第10回日本心臓財団 小林太刀夫賞

受賞者：八尾市保健担当グループ

日本循環器管理研究協議会初代理事長の名を冠した日本心臓財団小林太刀夫賞は地域と密着して、循環器病を中心とした生活習慣病予防のために長年貢献し、生活習慣等の改善により疾病管理に実効を挙げた活動、あるいは予防のための創意工夫により将来において疾病管理の実行が期待できる活動を展開中の保健師、看護師、栄養士の個人または団体に贈られるものです。第10回受賞は『都市部における住民主体の循環器疾患予防対策50年の取り組み』というテーマで、八尾市保健担当グループが選ばれました。

7月20日の第50回日本循環器病予防学会学術集会 (会長：山科章 東京医科大学循環器内科主任教授) 会期中に授与され、賞牌ならびに50万円が贈られます。

心臓病を予防しよう <その2～夏～>

心臓病の危険因子である高血圧を予防するためには、減塩が大切です。「虚血性心疾患の一次予防ガイドライン」(日本循環器学会 2012 年改訂版)では、食塩摂取量は成人男性 9.0g/日未満、成人女性 7.5g/日未満とされており、高血圧予防のためには 6g/日以下が推奨されています。

日本人は一般的に塩分摂取が過剰傾向にあると言われていますので、日頃からの減塩を心がけましょう。

家庭料理での減塩の工夫

- ①塩分の多い食品を減らす・・・練り製品や開き干しなどは塩分量が多いもの。利用を減らしましょう。また、外食や加工食品もなるべく控えましょう。麺類の汁は残しましょう。漬物は発酵の力が期待できるので、食べるなら少量で。
- ②調味料の使い方を工夫する・・・減塩・低塩の調味料を使うだけでなく、お酢、香辛料(コショウ、七味)、香味野菜(ニンニク、生姜)、果実(レモン、柑橘類)などを活用し、塩分以外の

味を楽しみましょう。

- ③新鮮な食材を使う・・・素材の持ち味を活かすことで、薄味でも美味しくいただけます。

調味料に含まれる塩分量の目安

	小さじ1杯 (5cc)	大さじ1杯 (15cc)
天 然 塩	5.8g	—
濃 □ 醬 油	0.9g	2.6g
薄 □ 醬 油	1.0g	2.9g
辛 □ 味 噌	0.7g	2.2g
ウスターソース	0.5g	1.5g
マ ヨ ネ ー ズ	0.1g	0.3g

夏野菜の簡単ピクルス

【材 料】

野菜：きゅうり、トマト、なす、パプリカ、オクラ、ゴーヤ、ズッキーニ、ミョウガなどお好みで。

(写真は、きゅうり1本、ミョウガ2個、オクラ4本、パプリカ1/4個、人参1/3本です)

ピクルスの液：

- (A) 米酢 200cc
白ワイン 100cc
砂糖 50g
粒胡椒 10粒程度
鷹の爪 1本
ローリエ 1枚
生姜(薄切り)少々

【作り方】

- ①ピクルスの液(A)を鍋に入れて火にかけ、ひと煮立ちさせて粗熱を取る。
- ②お湯を沸かし、一口大に切った野菜を

さっとお湯にくぐらせる。ピクルスを漬ける瓶も熱湯で消毒しておく。

- ③瓶に②の野菜を並べて入れ、最後に①を加えて1～2日以上漬け込む。味が染みたらできあがり。

【ポイント】

- ・ビタミンカラーの夏野菜で、食欲増進！
- ・お酢を使うことで、疲労回復・夏バテ予防も期待できます。
- ・お料理の1品または、お漬物として、常備菜として作っておくと便利です。
- ・残った液には、野菜のビタミンがたっぷり浸出しています。オリーブオイルを加え、塩こしょうで味を整えると、自家製ドレッシングとしてもお楽しみいただけます。



季節の主な行事

(二十四節季)と

旬の野菜

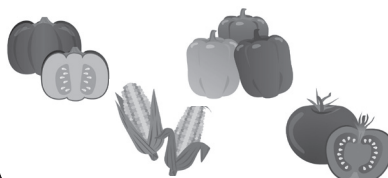
7月 小暑・七夕 (7月7日頃)

8月 立秋 (8月7日頃)

9月 秋分 (9月23日頃)

旬の野菜

えだまめ、おくら、かぼちゃ、きゅうり、アスパラ、ししとう、しそ、ズッキーニ、とうがん、とうもろこし、トマト、なす、ゴーヤ、パプリカ、ピーマン、モロヘイヤ、レタス



夏が旬の野菜の代表は、果菜類。

土より上に実がなる果菜類は、水分やカリウムが多く含まれ、身体にこもった熱を冷ます働きがあります。色が濃く、カラフルなものも夏野菜の特徴。食欲を刺激し、ビタミン補給を助けます。夏バテ防止にもなるので、積極的に摂るようにしましょう。

\ 使おう /



AED導入10年目プロジェクト

減らせ突然死

減らせ突然死 ～使おう AED～

AED 導入 10 年目プロジェクト

2014 年 7 月 1 日は市民が AED を使えるようになってから、ちょうど 10 年になります。この機に、できるだけ多くの国民が、心臓突然死を減らすことの重要性、AED を自らが使うことの意義に気づいてもらうことのできるキャンペーンを実施すべく、「減らせ突然死～使おう AED～実行委員会」（委員長：三田村秀雄）が立ち上がりました。

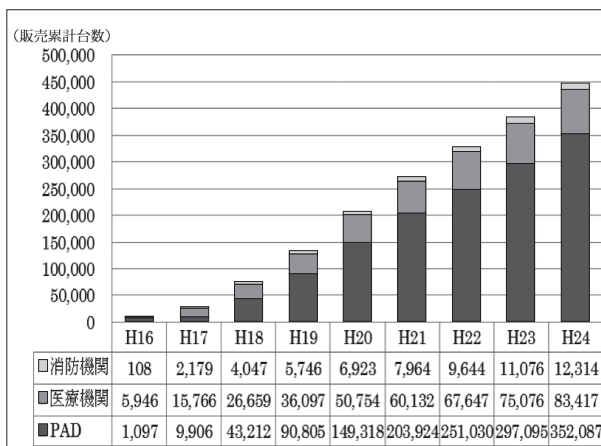
わが国における AED 設置台数は、販売台数で約 45 万台（平成 24 年末）と、先進国でも人口比でトップとなっていますが、まだまだ使える人は多くありません。

先日行われた NHK の世論調査（20 歳以上の 1780 人対象）でも、「誰かが突然倒れた場合、AED を使うことができるか」という質問に対し、できる：36% できない：53% わからない・無回答：11%という結果が出ており、できない理由として、「使い方がわからない」が 53%でした。

平成 24 年の消防庁のデータでも、一般市民が心肺停止を目撃した場合の AED 実施率はわずか 3.7%でした。

「減らせ突然死～使おう AED～」プロジェクトでは、AED 導入 10 年目の本年を AED 再始動元年と位置付け、フェイスブック(FB)やツイッターなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用しながら、ホームページサイトを立ち上げ、本趣旨に賛同する全国の皆様の想いをひとつにつなぎ、心臓突然死、心肺蘇生と AED に対する社会の理解を広げていきます。

ぜひ一度、ホームページをご覧ください、フェイスブックで「いいね！」をクリックしてください。

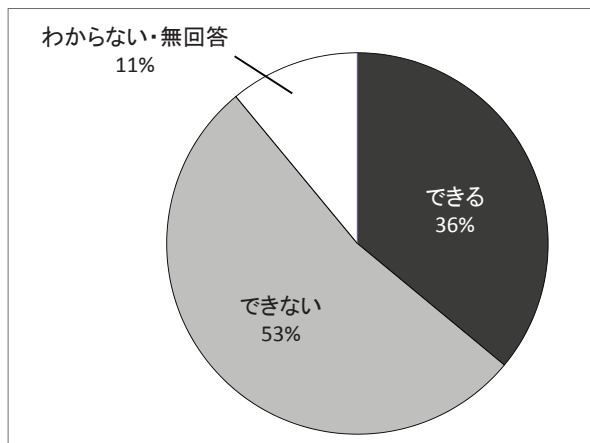


年別 AED 普及状況（厚生労働科学研究「AED の普及状況に係る研究」研究分担者：丸川征四郎氏より）

PAD：一般市民が使用できる AED



AED 導入 10 年目プロジェクト『減らせ突然死～使おう AED～』
<http://aed-project.jp/>



誰かが目の前で突然倒れた場合、あなたは AED を使うことができますか（NHK 調査、2014 年）



海外からの研究者に対する助成

日本心臓財団では、循環器疾患の研究分野において ASEAN 諸国等の研究者の来日に対し、東京海上日動火災保険(株)の協力による海外研究者研修助成を実施しています。

1) 第78回日本循環器学会学術集会における第12回国際留学生 Young Investigator's Award

最優秀賞 20 万円、優秀賞 10 万円(最優秀賞については日本循環器学会より 10 万円が加えられ 20 万円を授与)

最優秀賞: Nergui Suvd (東北大学大学院医学系研究科循環器内科: モンゴル)

優秀賞: Wu Hongxian (名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科: 中国)

Pang Zhengda (大阪大学大学院医学研究科老年腎臓内科学: 中国)

Maharani Nani (鳥取大学大学院医学系研究科再生医療: インドネシア)

Somasundaram Arumugam (新潟薬科大学臨床薬理学: インド)

2) 第78回日本循環器学会学術集会(平成26年3月21日~23日)に参加発表: 一人10万円

インドネシア Hartopo Anggoro Budi

バングラディシュ Rahman MD Toufiqur

バングラディシュ Uddin MD Saleh

叙勲のお知らせ

この度、平成26年度春の叙勲で、当財団理事長の矢崎義雄先生が瑞宝大綬章を、常任理事の北村惣一郎先生が瑞宝重光章を授章されました。

当財団に取りましてこの上ない栄誉と存じます。

今後とも皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日本心臓財団 事務局

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ここに厚く感謝申し上げ、ご芳名を掲載させていただきました。

(2014年3月~5月)

高橋 儀幸 様 株式会社アクセル 様
前田 拓也 様 村上 勝彦 様 早崎 綾子 様
麻生 光洋 様 加納 碩雄・万友美 様
匿名ご希望4名様

■小さなハートをつなぐ基金

井岡 敏夫 様 福原 卓也 様
匿名ご希望2名様

■AED普及活動

岩手県にAEDを普及させる会 様

当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援をいただいた方々のご芳名を掲載させていただきました。

(2014年3月~5月)

猪瀬 具夫 様 大槻 俊輔 様 櫛木 一男 様
細川 京子 様 吉松 秀明 様 渡邊 和子 様
匿名ご希望1名様

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店

普通 0801474

■三菱東京UFJ銀行 丸の内支店

普通 4025878

■ゆうちょ銀行

一般振替口座 00140-3-173597

(ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキョウ)店
当座 0173597)

口座名: 公益財団法人 日本心臓財団

ザイ) ニホンシンゾウザイダン